

音 樂
(器樂合奏)

音楽の目標について
<p>【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>[第1学年]</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていける態度を養う。</p> <p>[第2学年及び第3学年]</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>

【参考】

○ 目標の改善

音楽科で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」と規定し、「(1) 知識及び技能」、「(2) 思考力、判断力、表現力等」、「(3) 学びに向かう力、人間性等」について示した。また、資質・能力の育成に当たっては、生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習活動に取り組めるようにする必要があることを示した。このことによって、生徒が教科としての音楽を学ぶ意味を一層明確にした。

○ 標準授業時数

第1学年－45単位時間 第2学年－35単位時間 第3学年－35単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第 1 ・ 2 ・ 3 学年	器楽・751	中学器楽 音楽のおくりもの
取 扱 内 容	各 学 年 の 目 標 、 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、音色と奏法のかかわりや曲想と音楽の構造とのかかわりを理解したり、基本的な奏法や他のパートと合わせて演奏する技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、音色と奏法とのかかわりを理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「不思議な旋律」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、新しい音の運指やいろいろな奏法を身に付けて、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
		<p>使用上の配慮等</p> <p>○ 多様な音楽に触れることができるように、世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージにより、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「何が同じで、何が違う？」において、吹く楽器と弾く楽器の共通性と固有性を考えて特徴をまとめる活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		27・教芸	第1・2・3学年	器楽・752	中学生の器楽
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、曲の構成や音色や強弱、音の重なりなどを理解したり、基本的な奏法やパートの役割を考え、全体の響きを確認しながら演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。			
		○ 「共通事項」については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、曲の構成を理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。			
内 容 の 構 成 ・ 排 列		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「深めよう！音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、パートの役割や曲の構成を生かして表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。			
		○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、練習や演奏のポイント等を参考に、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使 用 上 の 配 慮 等		○ 多様な音楽に触れることができるように、様々な打楽器の奏法を掲載したり、ピアノ奏者からのメッセージにより、自ら考える力を引き出したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。			
		○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、和楽器奏者からのメッセージにより、楽器の特徴を理解する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。			
		○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			
そ の 他		※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

＜音楽（器楽合奏）の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 表現（器楽）にかかわるページ数及び総ページ数② 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数③ 和楽器を扱う箇所数 |
|--|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、表現（器楽）にかかわる全体としての分量について把握する必要があるため。② 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導することが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。③ 表現（器楽）の指導において、生徒が我が国や郷土の音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫することが求められていることから、和楽器の取扱いについて把握する必要があるため。 |
|--|

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者	教出	教芸
①	表現（器楽）にかかわるページ数及び総ページ数	表現（器楽）	ページ数	89	87	
			全体に占める割合	90%	81%	
		その他	ページ数	10	20	
			全体に占める割合	10%	19%	
		総ページ数			99	107
		前回の総ページ数			99	89
		増減			0%	20%
②	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数			1	1	
③	和楽器を扱う箇所数			63	41	

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

様式 5
 様式 4 の調査項目②〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者	題材名	内容	該当ページ
教 出	発展 弾く楽器の仲間たち	宗谷（北海道）	P53
		樺太アイヌの楽器（トンコリ）	
教 芸	資料「篠笛」	五勝手鹿子舞（北海道檜山郡江差町）	P62

※ 「取扱い方」については、編修趣意書に曲や音楽、教材などの違いが示されていないことから、記載しないこととする。